

福島大学

人間発達文化学類
教育実践コース

キャリア教養学科

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

桜の聖母短期大学に入学した時から考えていました。夢である教員になることを諦めることができず、編入対策が充実している桜の聖母短期大学に入学することを決めました。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。

1 年生は学校から出される課題に追われ、編入に向けての勉強はなかなか進みませんでした。2 年生の 4 月から少しずつ英語の勉強を始めて、7 月の下旬頃から志願理由書に取り掛かりました(ギリギリで始めてしまったのでとても焦りました。早めに取り組むことをお勧めします)。

Q. 編入のための学習指導は、いつから、どのような形で行われましたか。

英語は自主的に勉強を進めていました。小論文は試験の 1 ヶ月前から先生方に添削をお願いし、繰り返しご指導いただきました。面接練習は、3 週間前から学科以外の先生方にも直接アポイントを取りご指導いただきました。研究室を直接訪ねてご指導をお願いすることもありました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

英語の勉強に特に力を入れたことです。試験の 2 か月前からは、長文問題は 1 日 1 問必ず解くことを自分に課し、隙間時間は単語の勉強に当てました。

Q. 編入対策において、先生のアドバイスで役に立ったことを教えてください。

面接対策です。編入試験だからこそ想定される質問の受け答えなどにも熱心にサポートいただきました。先生方からいただいたすべてのことが助けとなり力になりました。

Q. 編入対策において、聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

編入学に合格した先輩方からのアドバイスが豊富にあり、過去問を解く上でも大変参考になりました。

① 大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学後（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格後の気持ちを 教えてください。

① 「編入に向けて頑張るぞ」という気持ち。

② 短大での生活が楽しく、目標である編入はもちろんだが「短大での学生生活も楽しみたい」という気持ち。

③ 「就職が決まっていく友人たちが羨ましい」でも「自分は最後までやり切る！」という気持ち。

④ 嬉しいのはもちろんだが、安心した気持ちが大きかった。

Q. これから桜の聖母短大に入学する、または桜の聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

編入は思っている以上に大変で精神的に辛いです。しかし、諦めないで勉強し続けることが必要だと思います。先生方をはじめ周囲の人たちをたくさん頼って頑張ってください！応援しています！